

2022 年 6 月 22 日

「りょうもう地域活性化パートナーシップ」に基づく 株式会社エム・ティー・スリーへの出資について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、100%出資子会社である株式会社ウイング・キャピタル・パートナーズ（代表取締役 荒井 大）が運営するファンド（Wing2 号成長支援投資事業有限責任組合）を通じて、株式会社エム・ティー・スリーへ出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、群馬銀行との「りょうもう地域活性化パートナーシップ※」に基づき、群馬銀行の100%出資子会社である「ぐんま地域共創パートナーズ株式会社」と共同で出資するものです。

当行グループは、今後ともファンドを通じたお客さまの成長支援・課題解決に積極的に取り組むとともに、他金融機関とも協力・協業し、これまで以上に地域に貢献してまいります。

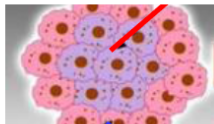


※足利銀行と群馬銀行における、両毛地区（栃木県南西部・群馬県南東部）を中心とした、両行の重複営業エリアでの産業活性化・課題解決、お客さまサービスの向上を目的とした枠組み



記

【出資概要】

出資日	2022 年 6 月 22 日（水）
出資先	株式会社エム・ティー・スリー
代表者	代表取締役 宮崎 年恭
所在地	東京都港区芝浦三丁目 20 番 2 号
企業概要	海洋生物由来の天然物から発見された新しいタイプのがん放射線増感剤※「レブリチン」の製造・販売を行う。 レブリチンは、がん放射線治療の抗がん効果を安全に発揮することができる薬剤として実用化が期待されており、動物（ペット）用医薬品として普及させた後、人間用医薬品への展開を目指している。 また、群馬大学理工学部（群馬県桐生市）と共同で、レブリチンをベースとした次世代に繋がる医薬化合物の研究開発を進めている。 【作用機序】 Cancer cells in the hypoxic region  Cancer cells in areas with oxygen  投与後30分後にがん組織内の血流量が最大になる。 がん組織の中心部が一時的に高酸素濃度状態になり、放射線が作用します。 ※がん放射線療法において、放射線が作用しない低酸素濃度状態のがん細胞の酸素濃度を一時的に高め、放射線治療の効果を高めるために併用される薬剤



【製品イメージ】

以上

（ご参考）ファンドの概要

正式名称	Wing1 号事業再構築 投資事業有限責任組合	Wing2 号成長支援 投資事業有限責任組合
投資対象目的	・事業承継に関する支援 ・事業再生に関する支援 ・資本増強支援	IPO を目指す企業や、独自性・ 成長性の高いビジネスモデルを 有するベンチャー企業等の支援
ファンド総額	30 億円	20 億円
組合員構成	有限責任組合員（LP）：株式会社足利銀行 無限責任組合員（GP）：株式会社ウイング・キャピタル・パートナーズ	
設立日	2021 年 4 月 1 日	

＜スキーム図＞

